

# 青年部結成と今後の活動について

平良市漁協青年部 神里 裕夫

## 1. 地域漁業の概要

私達の所属する平良市（池間島を除く）、城辺町、下地町、上野村、多良間村の一市二町二村の広域にまたがり、総人口約5万人、平良市を除いては準農村地域であるため、兼業漁家が多く組合員も正484名、准583名、計1,067名で構成され経営体455で漁船もほとんどが5トン未満の小型漁船による一本釣、はえなわ、曳縄、網漁業、モズク養殖を主体に営まれている。

ちなみに昭和56年度の水揚げ高は1,152トン、金額にして664,455千円で一漁業家当たりの漁業所得は、622,731円と零細漁家が大半を占めており、漁業生産への意欲も隣接する伊良部町漁協池間漁協には比較にならない現状であります。

このような地域特性から漁業者も高令者が大半を占め、484名の正組合員のうち36才～40才が38名、35才以下がわずか23名と青年層漁業者は減少の一途をたどっており、魅力ある漁業作りには、今までの旧態依然とした零細漁業からの脱皮が急務となっています。

## 2. 青年部結成の動機

ここ数年、漁業をとりまく環境はオイルショックや200カイリ問題、漁場汚染等一層困難な状況を迎えており、漁業ばなれが我宮古に於いても急速に進んでいる現在、私達若い漁業者は逃避するのではなく、漁協と行政、あるいは漁業者同志がお互いに手を取りあい、宮古の水産業の将来を担う漁業者として悩みや諸課題を語り、学びあう場として漁協青年部の結成を2～3人の有志で昨年の暮れから話しあってきました。

まず、私達が青年部結成を取組んだ要因の一つに自分のカラにとじこまった生活を改善したい。二つめに漁業の技術を高め、単なるとる漁業、つまり自然まかせの漁業から計画生産のできる安定した漁業経営を営みたい。三つめに他地域の漁業者とも交流を深め、漁業後継者としてさまざまなことを学び、漁業者としての誇りをもつことの認識からでありました。

これまで青年部結成の動きは何回かありましたが、役員のなり手がいないとの理由で立ち消えになってしまったこともあり、今回は少ない人数であるが、まずお互いの交流をもっていこうとの結論に達し、水産改良普及員や漁協組合長の助言も得て、昭和57年7月28日県内11番目の平良市漁協青年部を会員12名で発足させることができ、総会当日は規約、活動方針の論議や各先輩の激励等夜遅くまで盛り上がった総会でした。

私達の部員は、まき網漁業2人、潜水器漁業兼養殖業6人、一本釣1人、漁協職員3人で構成され漁業従事年数も平均して5年とまだ未熟でございますが、地域の青年団活動の役員経験者が多く、自覚的な活動ができると思います。

## 3. 活動の状況

まず、今年の活動の目標と致しまして月一回の定例会と勉強会、映写会の実施、レクリエーション

オン、産業祭りへの参加、先進地視察、その他となっています。また、8月9日に実施されたオニヒトデの駆除に青年部が積極的に協力し、市民からも共感の和が寄せられているところであります。今年度は、基盤作りを主眼においた活動内容ですが、これを機会に他地区先輩青年部の活動を学び、参考にしていきたいと思っております。

さて、先に申し上げましたように漁業をとりまく環境は、今後一段と厳しくなり、不安定な生活は続くと思っておりますが、幸いにして当管内には宮古唯一の与那覇湾、嘉手苅入江、大浦湾を有し漁業環境においては他に類をみない天然の好漁場を有しており、S58年度からスタートする宮古地域栽培漁業推進拠点パイロット事業の完成後は、漁場の有効利用と併せて計画、生産、管理型漁業実現への明るい展望が開かれつつあります。私達若い漁業者の取組みいかんによっては、漁業で生活ができる条件を備えた地域として、青年部の今後の活動が期待されており、特に年収100万円にも満たない零細漁業を養殖を中心にした資源管理型漁業に変え、せめて一般サラリーマン並みの漁獲実績まで引き上げ、若い漁業者を増やしていきたいと考えます。

#### 4. 今後の目標

それに対応するための青年部活動として、①共同の理念にたち組合発展に協力すること。②自らの経営改善のため、営漁簿（野帳）を作成すること。③部員相互の研究、情報交換を月一回欠かさないこと。④地先海面の有効利用を図ること。⑤他地区青年部との交流を活発にすること。この5つの課題を今後の活動の目標に取組む所存であります。

私達青年部は、広域的な性格から定例会に全員参加するにはかなり厳しい面もありますが、現在12名の会員を23名に増やし、5つの課題の外オニヒトデの駆除、廃油ボールの除去等にも参加し、活動を活発にしていく計画です。

最後に、まだ結成して2ヶ月余の青年部ですが、部員相互の連携を密にし先輩組合員、漁協、水産普及員の指導、助言を仰ぎながら地域に根ざした青年部作りを目ざして成長していきたいと思っております。今後とも関係機関をはじめ、諸先輩方の御指導をお願い申し上げ私の発表を終わります。